

U.S. Indicators

発表日: 2020年6月4日(木)

5月ISM非製造業指数も米国景気の悪化ペース鈍化示唆

～経済活動再開でもマイナス基調持続～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治 (TEL: 03-5221-5001)

米国では、3月中旬以降の新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためのロックダウンや、外出制限、イベントの中止、店舗の休業、工場の操業停止による経済活動の休止を背景に、企業活動は急激に悪化している。特に、感染予防のためには社会的な距離を取らざるを得ないことからサービス業が著しく悪化している。また、製造業は新型コロナウイルスのパンデミックを背景とした世界経済の縮小、サプライチェーンの毀損、原油価格の急落による石油探査・掘削の減少に加えて、雇用情勢の悪化や外出規制などによる国内需要の縮小の影響を受け、悪化している。ただし、4月末から5月20日までに全米50州で行動制限が緩和されたため、足元で米国の企業活動の悪化ペースは鈍化している。

20年5月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、45.4(前月41.8)と前月比3.6%p上昇し市場予想中央値44.0(ブルームバーグ集計)を上回った。09年3月の40.1以来、11年ぶりの低い水準となった4月から上昇した。ただし、依然拡大縮小の分岐点である50を下回っているうえ、総合指数の構成項目である“入荷遅延”は通常需要が強いときに上昇し指数を押し上げるが、足元ではサプライチェーンの毀損によって統計作成以降の最高値付近にとどまっており、総合指数を押し上げている。以上より、5月20日かけて全米50州で経済活動が再開されたが、4月対比で5月の非製造業の企業活動は、悪化ペースの鈍化にとどまったことを示している。

総合指数の算出項目をみると、入荷遅延が67.0(前月78.3、前月比▲11.3%p)と低下した一方、活動指数が41.0(前月26.0、前月比+25.0%p)、新規受注が41.9(前月32.9、前月比+9.0%p)、雇用が31.8(前月30.0、前月比+1.8%p)と、4月の97年の同統計作成以降の最低値から上昇した。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比▲2.83%pの押し下げ寄与となった一方、活動指数が前月比+3.75%p、新規受注が前月比+2.25%p、雇用が前月比+0.45%pの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、新型コロナウイルスのパンデミックへの対応に伴うサプライチェーンの毀損や各国経済活動の一部停止などによる世界経済の悪化を背景に、新規輸出受注が41.5(前月36.3、前月比+5.2%p)と50を下回り、米国輸出の減少持続を示している。

企業からの報告では、企業は新型コロナウイルスの影響を引き続き懸念している。ただし、多くが事業再開を望んでいるか、事業再開を計画していると報告された。前向きな報告では、農林水産業は需要の底打ち、建設業は販売が鈍化したものの受注残が19年の水準を維持していること、教育サービスはオンライン授業のニーズの拡大、金融・保険は中小企業向け融資ローン業務によって非常に忙しいことなどが指摘された。

インフレ面では、航空貨物、牛肉、挽き肉(牛)、クリーニング製品、消毒剤、手用消毒剤、用務用品、医療用品、個人用保護具(つなぎ服、手袋、ガウン、マスク)、N95マスク、衛生用品、配向性ストラン

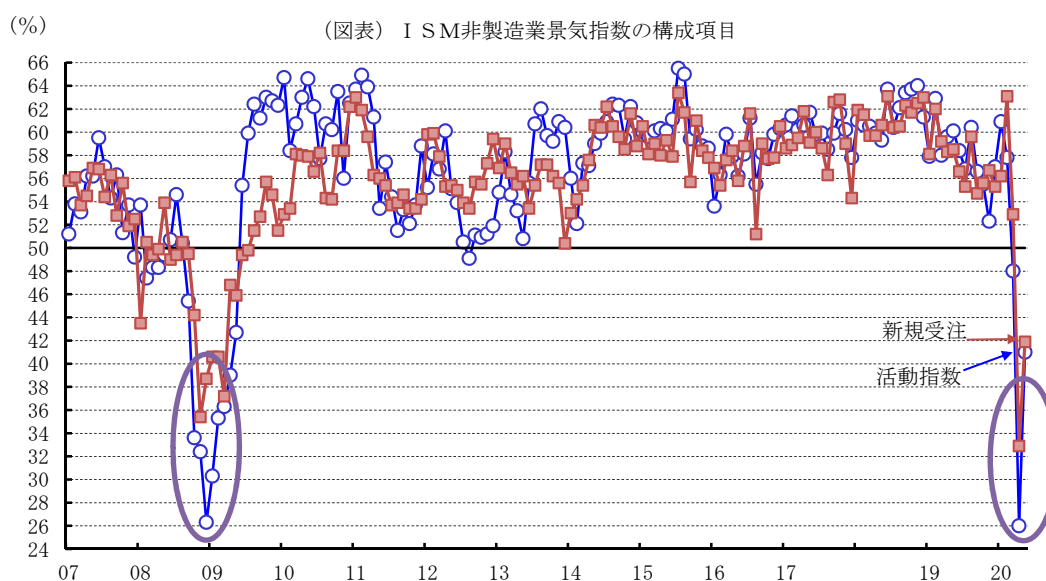
ドボード、木材製品などの押し上げによって仕入価格D Iが55.6（前月55.1）と上昇した。新型コロナウイルスの感染拡大で需要が強まっている財を中心に価格上昇圧力が強まっていることを示している。

供給不足の部門として、これまで不足が指摘され続けてきた建設労働者、派遣労働者の不足が解消された。商品では、アルコール、クリーニング用品、用務用品、医療機器、医療用品、個人用保護具（つなぎ服、手袋、ガウン、マスク）、手術用マスク、消毒剤、衛生用品、消毒用ワイプ、鼻腔スワブ、N95マスク、紙製品、安全装置などの不足が報告された。

5月の業種別の動向では、拡大した業種は、農林水産業、金融・保険、公的部門、情報産業と全18業種中4業種にとどまった（4月2業種）。一方、縮小した業種は、鉱業、芸術・娯楽・レクリエーション、その他サービス、建設業、教育サービス、専門・科学・技術サービス、公益、卸売業、宿泊・飲食サービス、企業向けサービス、不動産業、運輸・倉庫、医療・社会支援、小売業の14業種（4月16業種）に減少した。

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数で合成）」は、5月に45.2と4月の41.8から3.4%p上昇した。4、5月平均では43.5と1-3月期の54.6から急低下しており、急激な景気悪化を示している。ただし、新型コロナウイルスへの対応によってGDP統計との関係は弱い。

今後について、4-6月期に実質GDP成長率が40%強に落ち込んだ後、7-9月期には4月末以降の州ごとの段階的な制限解除によって、経済活動は上向くと予想される。もっとも、新型コロナウイルスの感染が完全に終息するわけではないため、3密の回避など様々な制約を受けることから、景気のV字回復は困難であろう。このような状況のもと、ISM非製造業景気指数、総合景気指は大きく落ち込んだ後、比較的早期に50を回復するものの、それは前月比での改善傾向を示すに過ぎず、今回の新型コロナウイルス危機前の経済水準を取り戻すにはかなりの時間が必要と予想される。



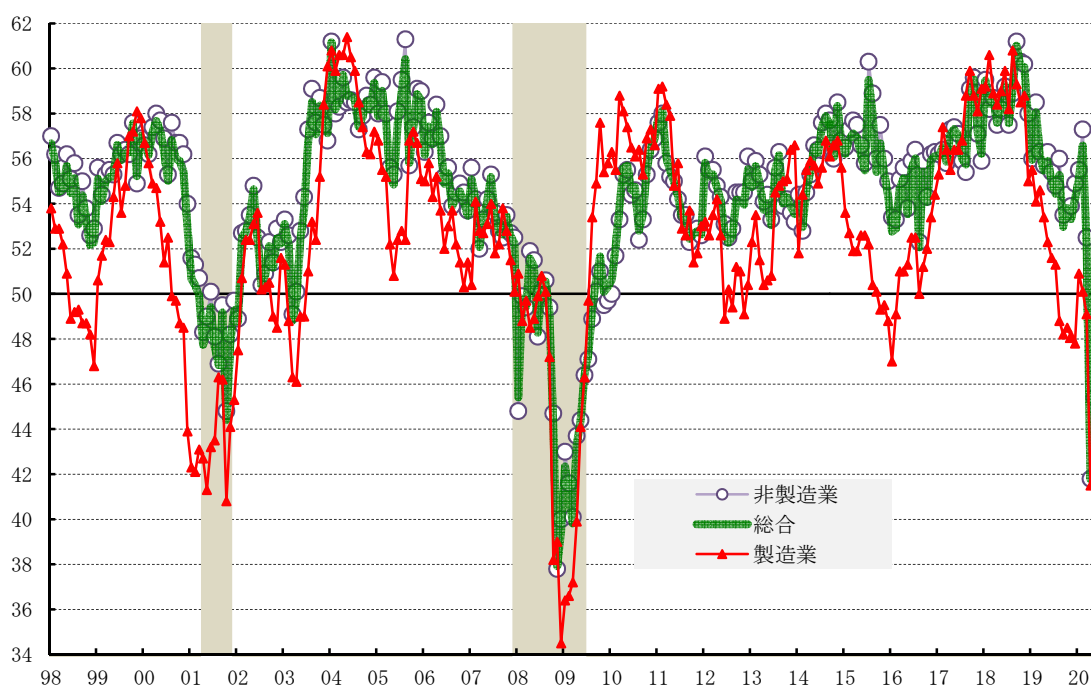
(出所) ISMデータより加工

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
19/05	56.3	60.1	58.5	57.1	49.5	52.5	56.0	55.5	54.0
19/06	55.4	58.4	56.6	55.2	51.5	56.0	58.8	55.5	55.0
19/07	54.8	56.8	55.3	55.7	51.5	53.5	57.0	53.5	50.0
19/08	56.0	60.4	59.6	53.7	50.5	49.0	58.4	50.5	55.0
19/09	53.5	56.6	54.7	51.7	51.0	54.0	59.3	52.0	53.0
19/10	54.4	55.5	55.6	53.9	52.5	48.5	57.3	50.0	50.5
19/11	53.9	52.3	56.7	54.9	51.5	48.5	58.8	52.0	50.5
19/12	54.9	57.0	55.3	54.8	52.5	47.5	59.3	51.0	51.0
20/01	55.5	60.9	56.2	53.1	51.7	45.5	55.5	50.1	46.5
20/02	57.3	57.8	63.1	55.6	52.4	53.2	50.8	55.6	53.9
20/03	52.5	48.0	52.9	47.0	62.1	55.0	50.0	45.9	41.5
20/04	41.8	26.0	32.9	30.0	78.3	47.7	55.1	36.3	46.9
20/05	45.4	41.0	41.9	31.8	67.0	46.4	55.6	41.5	48.0

(出所) ISM

ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シェード部分は景気後退期。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

